

2027年度

福山大学大学院経済学研究科
(修士課程)

学生募集要項

[推薦型選抜(外国人留学生特別選抜)]



福山大学

経済学研究科の目的

経済学研究科は、経済学および経営学の理論・応用分野での教育・研究を行い、これらの分野での高度な専門知識と能力を備えた専門的職業人を養成する。更に、これらの教育・研究を通じて、再教育・生涯教育を行うことにより、すぐれた社会人の養成に資することを目的とする。

経済学研究科修士課程

アドミッション・ポリシー（入学者受け入れ方針）

福山大学経済学研究科は、経済の動きを理論的かつ实际的に研究し、その研究成果によって社会に貢献する熱意のある人材を広く求める。具体的には次のような人材である。

1. 経済学・経営学の基礎的知識を有する人、又は経済学・経営学の関連分野の実践経験を有する人。
2. 経済学・経営学の専門的分野に取り組み、自ら研究を推進できる人。
3. 経済学・経営学の専門的職業人に必要とされるコミュニケーション能力とプレゼンテーション能力を有する人。

ディプロマ・ポリシー（修了要件・学位授与の方針）

経済学あるいは経営学の分野での高度な専門知識と論理的思考を伴う研究実践力、特に専門領域での様々な課題に対応できる実践力を修得していること。具体的には、以下の力を獲得していること。このような要件を満たし、所定の単位を修得し、かつ必要な研究指導を受けたうえで学位（修士）論文を提出し、研究科の行う審査に合格した者に、修了を認定し、修士（経済学）の学位を授与する。

1. 経済学・経営学分野の研究に精通して、それを社会的実践に応用できる。
2. 経済学・経営学分野の研究に精通して、それを社会での諸問題の理解に活用できる。
3. 経済学・経営学分野の専門的職業人に必要とされるコミュニケーション能力とプレゼンテーション能力を修得し、それを活用できる。

カリキュラム・ポリシー（教育課程の編成・実施の方針）

研究科のディプロマ・ポリシーである、経済学あるいは経営学の分野での高度な専門知識と論理的思考を伴う研究実践力、特に専門領域での様々な課題に対応できる実践力の養成を目指して、専門教育からキャリア教育までの体系的な履修が可能となるよう、次のような3つのワークのもとでカリキュラムを編成し、実施する。各ワークに併せて、能動的学修を主体的に行い、パフォーマンスレベルに合わせてその学修成果を評価する。

コースワーク

1. 基礎科目の特論を通して専門基礎の知識を修得する。

2. 専門科目の特論を通して専門分野の諸課題を幅広い分野から捉える力を修得する。

リサーチワーク

1. 演習と修士論文作成を通じて専門的知識をさらに深化させ、課題解決に必要な専門能力を身につける。
2. 研究成果を校外外で発表し、プレゼンテーション能力やコミュニケーション能力を修得する。

キャリアワーク

専門分野についての理論・知識が、実社会においてどのように応用されているかについて、幅広い見地から学修する。

広い視野とバランスのとれた高度な専門知識を有する企業人を目指す者には、コースワークについては経済学と経営学の2つの領域を広く学習し、リサーチワークの演習についてはどちらか1つの領域から選択する。

経営学領域のうち、特に税務・会計を志望する者は、税務・会計に関する体系的知識を総合的に学習するとともに、経営学特に税法分野から指導教員を選択する。

教育課程の中核となる修士論文作成の指導は、指導教員及び副指導教員によって行われる。論文作成作業が計画的に実行でき、その結果、高水準の学位（修士）論文が完成できる仕組みとして、研究計画書提出、中間報告会、学位論文公聴会が段階的に設けられ実施される。

1. 募集人員

修士課程 経済学専攻 若干名

2. 出願資格

次の①, ②, ③全てに該当する者

- ① 福山大学の指定する協定大学の在籍学生で2027年3月までに卒業見込である者、卒業生又は特に認められた者
- ② 日本語能力試験のN2レベル以上である者、又は入学までにN2レベル以上に達する見込みのある者で、英語能力についてTOEFL550点レベルの成績に達している者
- ③学業成績、人物ともに優れ、指定する大学の教員が推薦する者

3. 試験日

2026年10月～11月（試験日は別途協定大学と協議して定める。）

4. 出願手続

(提出書類)

- ①入学志願票・受験票(本学所定の用紙に、最近1カ月以内に撮影した上半身・正面・脱帽の写真(縦5cm×横4cm)を貼付のこと)
- ②卒業見込証明書(出身大学において作成したもの)
- ③成績及び単位修得証明書(出身大学長又は学部長が作成し厳封したもの)
- ④推薦書(本学所定用紙で指導教員が作成し厳封したもの)
- ⑤研究志望理由書(本学所定の用紙)
- ⑥調査書(本学所定用紙で出身大学長又は学部長が作成し厳封したもの)
- ⑦研究計画書(本学所定用紙)
- ⑧留学同意書(本学所定様式)
- ⑨日本語能力試験合格証明書(写し)又は日本語能力試験N2レベルであることの証明書(本学所定用紙)
- ⑩英語能力 TOEFL550点レベルの成績に達している証明書(写し)

5. 選考方法

入学者の選考は筆記試験、面接及び提出書類等を基に総合して行います。

6. 合格発表及び入学手続

合格者のみに、「合格通知書」及び「入学予定証明書」を送付します。

7. 入学手続

合格者は、以下の手続を行ってください。

- ①合格者は、原則として入国前に所定の納入金(検定料、入学金、授業料、学友会費)を本学経理課へ納入し、入国後、入学手続書類(入学届、保証書、誓約書、学生記録原票等)を提出してください。
- ②入学手続をしなかった者は、入学資格を失います。

8. 諸納入金

| | |
|------|-----------------------------|
| 検定料 | 30,000円(本学協定校出身者については検定料免除) |
| 学友会費 | 5,000円 |
| 後援会費 | 10,000円 |

入学金・授業料（予定）

| 費 目 | 研究科 | |
|-------|----------|----------|
| | 入 学 時 | 後 期 |
| 入 学 金 | 200,000円 | ————— |
| 授 業 料 | 256,000円 | 256,000円 |
| 計 | 456,000円 | 256,000円 |

※授業料は、日本人学生の80%にあたります。

但し、大学が定める下記条件を満たさない場合は、授業料の減免の対象とならないので、追加納入していただく必要があります。

※授業料減免の条件

- ①「留学」の在留資格を保有又は取得見込みの私費外国人留学生
- ②仕送り額（入学金・授業料等を除く、本国からの仕送り額と在日扶養者の援助額の総額）の平均月額が9万円以下であること
- ③扶養者の年収（在日扶養者及び本国の扶養者のそれぞれの年収）は500万円未満であること

9. 授業科目

| 経済学コース | 税務・会計（税理士）経営コース |
|-------------|-----------------|
| マクロ経済学特論Ⅰ・Ⅱ | 税法特論Ⅰ・Ⅱ |
| ミクロ経済学特論Ⅰ・Ⅱ | 税法特論Ⅲ・Ⅳ |
| 金融論特論Ⅰ・Ⅱ | 税法特論Ⅴ・Ⅵ |
| 財政学特論Ⅰ・Ⅱ | 税法特論Ⅶ・Ⅷ |
| 社会保障論特論Ⅰ・Ⅱ | 簿記論特論Ⅰ・Ⅱ |
| 労働経済学特論Ⅰ・Ⅱ | 財務諸表論特論Ⅰ・Ⅱ |
| 国際経済学特論Ⅰ・Ⅱ | 税務会計論特論Ⅰ・Ⅱ |
| 国際金融論特論Ⅰ・Ⅱ | 財務会計論特論Ⅰ・Ⅱ |
| 中国経済論特論Ⅰ・Ⅱ | 管理会計論特論Ⅰ・Ⅱ |
| 欧州経済論特論Ⅰ・Ⅱ | 企業事例研究Ⅰ・Ⅱ |
| 経済政策特論Ⅰ・Ⅱ | マーケティング特論Ⅰ・Ⅱ |
| 統計学特論Ⅰ・Ⅱ | 中小企業論特論Ⅰ・Ⅱ |
| 地方財政論特論Ⅰ・Ⅱ | 経営戦略論特論Ⅰ・Ⅱ |
| 環境経済学特論Ⅰ・Ⅱ | 国際経営特論Ⅰ・Ⅱ |
| 計量経済学特論Ⅰ・Ⅱ | 民法特論Ⅰ・Ⅱ |
| 国民経済計算特論Ⅰ・Ⅱ | 経営学特論Ⅰ・Ⅱ |
| | 税務事例研究Ⅰ・Ⅱ |

10. 演習

| 経済学コース | 税務・会計（税理士）経営コース |
|----------|-----------------|
| マクロ経済学演習 | 税法演習 |
| ミクロ経済学演習 | 会計学演習 |
| 金融論演習 | 監査論演習 |
| 財政学演習 | マーケティング演習 |
| 社会保障論演習 | 経営戦略論演習 |
| 労働経済学演習 | 国際経営演習 |
| 経済政策演習 | 中小企業論演習 |

11. 受験に関する注意事項

- (1) 試験当日には必ず受験票を持参してください。
- (2) 本学に一旦受理された出願書類，入学検定料及び入学金は理由の如何を問わず返還しません。但し，諸納入金納入後に入学を辞退する場合は，2027年3月24日（水）までに申し出た場合に限り，入学金を除いた額（授業料・学友会費・後援会費）を返還します。

12. 障害のある受験生への支援について

- (1) 受験に必要な支援についてのお問い合わせ
福山大学大学院入試係
- (2) 入学後に必要な支援についてのお問い合わせ
福山大学 障害学生支援室 TEL：084-936-2112（内線：2271）

*個人情報の取り扱いについて

本学では，出願時に収集した個人情報（住所・氏名・生年月日等）を，入学試験実施，合格者発表，入学手続き及びこれらに付随する業務のためにのみ利用します。その際，当該個人情報の漏洩・流出・不正利用等がないよう，必要かつ適切に管理を行います。

13. 教員紹介

| 教員名 | 授業科目 | 研究テーマ | キーワード |
|-------|--------|------------------------------|---------------------------------|
| 有賀 敏之 | アジア経済論 | 世界経済論 国際地域経済論 多国籍企業論 | グローバリゼーション 比較地域 グローバル M&A |
| 飯田 哲也 | 税法 | 税務会計 国際課税 コーポレート・ガバナンス | 税務ガバナンス BEPS 財務会計 |

| | | | |
|--------|--------|---|------------------------------------|
| 呉 青姫 | 中国経済論 | 経済政策 福祉経済 厚生経済 | 所得格差 社会保障 セーフティネット |
| 大城 朝子 | 経営戦略論 | 日本的経営の海外移転 備後地域における企業経営 ボーングローバル企業の経営戦略 | 日本的経営の海外移転 組織学習 備後地域 |
| 勝田 篤 | 管理会計論 | 公的組織の管理会計 ヘルスケア・マネジメント | 医療介護経営 公的組織のBSC 戦略管理会計 |
| 許 霽 | 財務諸表論 | 財務会計 国際会計 | 企業会計制度 国際会計基準 中国会計制度 |
| 高羅 ひとみ | 財政学 | 開発経済学、ミクロ経済学 途上国農村の信用市場 労働移動 | 連結取引 労働者の異質性 インフォーマル信用 |
| 佐野 穂先 | ミクロ経済学 | 国際経済学 空間経済学 | 国際貿易 産業集積 経済統合 |
| 助田 暁 | 金融論 | 金融政策 マクロ経済学 金融論 | 金融摩擦 フォワードガイダンス 金融投資 |
| 田中 征史 | 統計学 | 経済成長論 労働経済 | 機械化と経済成長 教育と経済成長 所得格差 |
| 早川 達二 | マクロ経済学 | 国際マクロ経済学 日本経済論 | 経済成長の持続性 公的債務削減の影響 交易条件と貿易収支 |
| 李 森 | 社会保障論 | 社会保障論 労働経済学 財政学 | 公的年金制度 国民負担率 |

(注1) 詳細情報については以下の URL を参照してください。

https://www.fukuyama-u.ac.jp/about/faculty/researchers_ec/

(注2) 講義科目については英語による授業も含まれます。

Some lectures will be provided in English.